

自ら学び続ける教職員研修支援事業 活動報告書

グループ(学校)名 西濃高等特別支援学校

テーマ カリキュラム・マネジメント (キャリアパスポートを軸にした教科等横断の推進)

取組のポイント・成果

1 取組の内容とポイント

今年度、本校の研究では、カリキュラム・マネジメント（2年目）として、授業内容の検討や学習評価の充実をはじめ、キャリア教育の推進を図っていくため、その一環として以下のとおり研修や学校視察を行い、より効果的な教育プログラムの実現につながる活動を行った。

(1) 学習評価に係る研修

講師：三重大学教育学部 教授 石川 照子 氏

① 第1回 7月11日(木)

学習指導要領を軸とした3観点の学習評価を位置付けた授業プラン（基礎編）

学習指導要領に基づく3観点の学習評価から生徒の資質や能力を総合的に評価する方法を学び、専門的な指導力の向上を図った。

② 第2回 10月22日(火)

学習指導要領を軸とした新3観点の学習評価を位置付けた授業プラン（応用編）

第1回の研修後に本校の職員が作成した考查問題を題材に、実践的な評価方法や、指導と評価の一体化を意識した授業づくりを学んだ。

(2) 学校視察

① 愛知県立豊田高等特別支援学校 9月10日(火)

② 京都市立東山総合支援学校 9月18日(水)

③ 滋賀県立長浜北星高等養護学校 12月11日(水)

2 成果

学習評価の充実を目指して、専門有識者からの講義を受け、職員は評価に基づいた指導方法を意識するようになった。定期考查も改善され、さまざまな教科で評価の3観点を重視した試験が行われるようになった。

また、他校の視察を通じて、各校がそれぞれの教育目標に向けて特色ある取組を進めている様子を知ることができた。さらに、地域の資源を活用した連携の状況を知ること、自校独自の資源に気付くことができた。

今後の課題

今年度、他校を視察し、地域資源を効果的に活用した取組を学ぶことができた。本校も独自の人的および物的資源を整理し、教育活動に最大限に活用できるように組織化することが課題である。

来年度はカリキュラム・マネジメントの3年目として教育活動に必要な人的・物的資源を地域の外部資源も含めて活用できる体制を整備し、より一層キャリア教育を推進していく。また、今年度学んだ学習評価の研修内容を踏まえて授業実践や授業研究を行い、指導と評価の一体化を図ることで教育の質の向上を目指す。